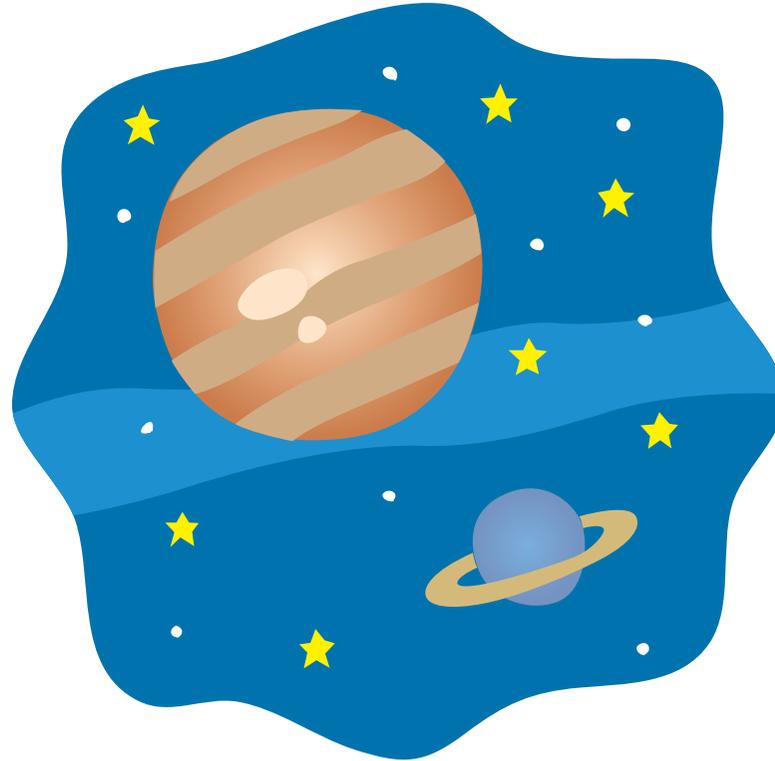


# 《宇宙》



# 《大地》



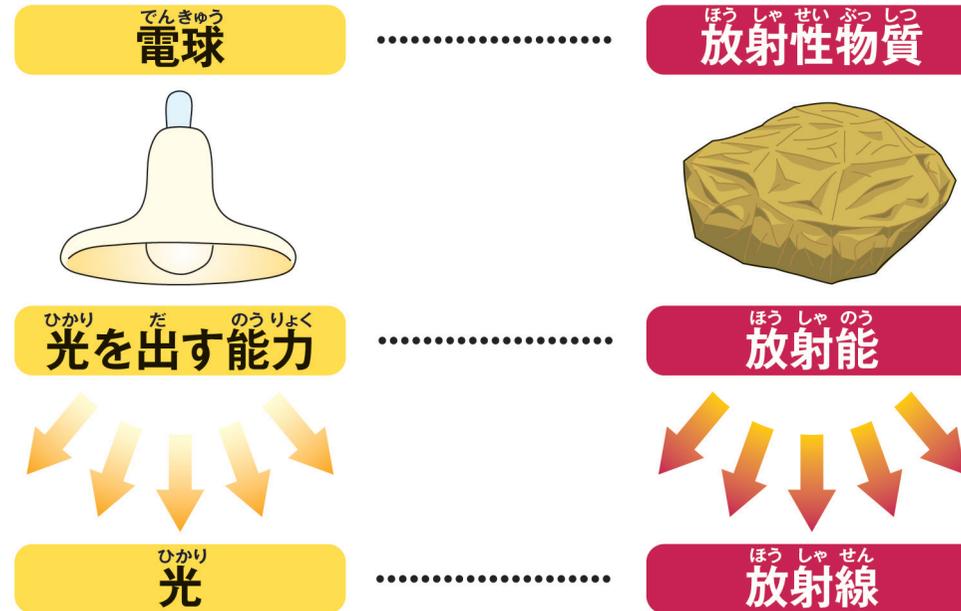
# 《空気》



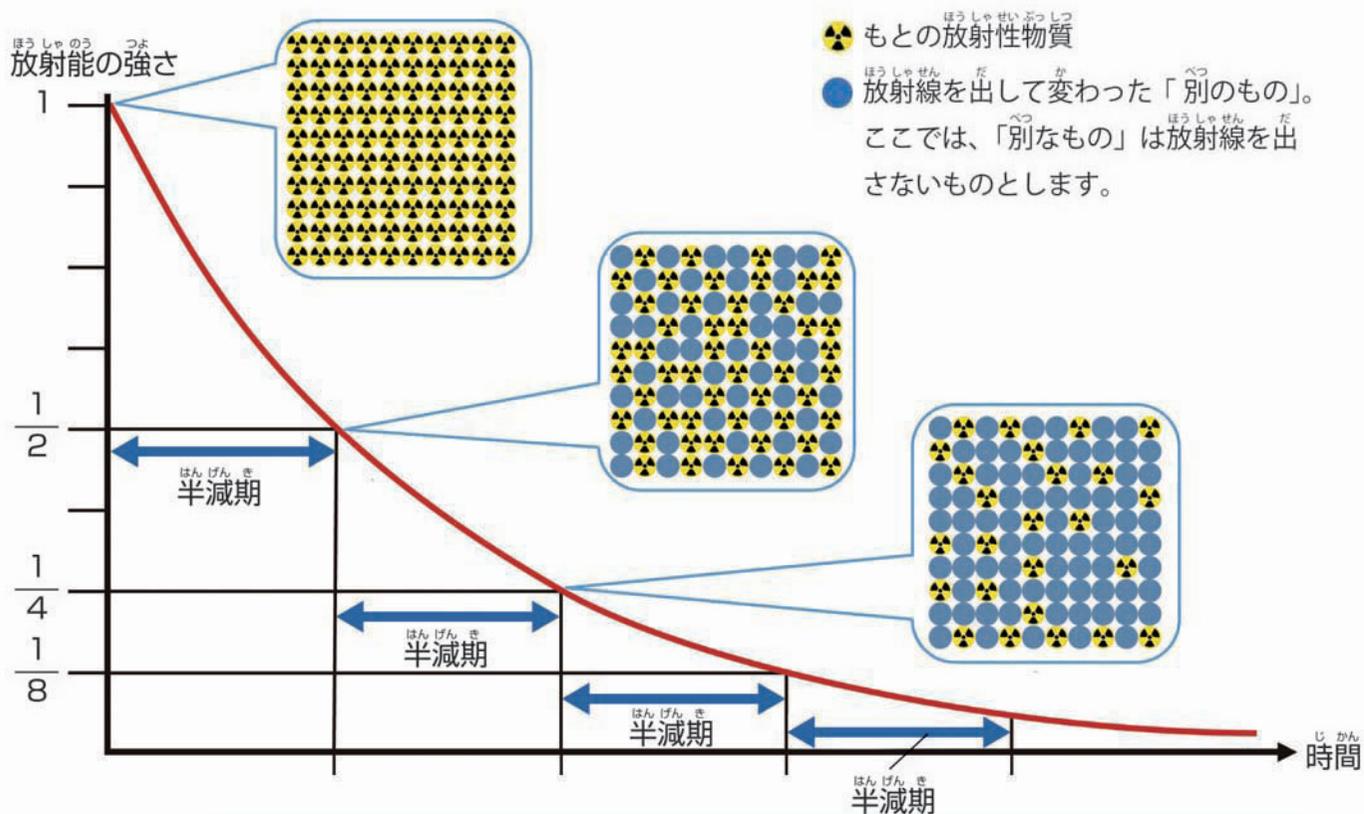
# 《食べ物》



# 《放射性物質・放射線を電球・光に例えた図》



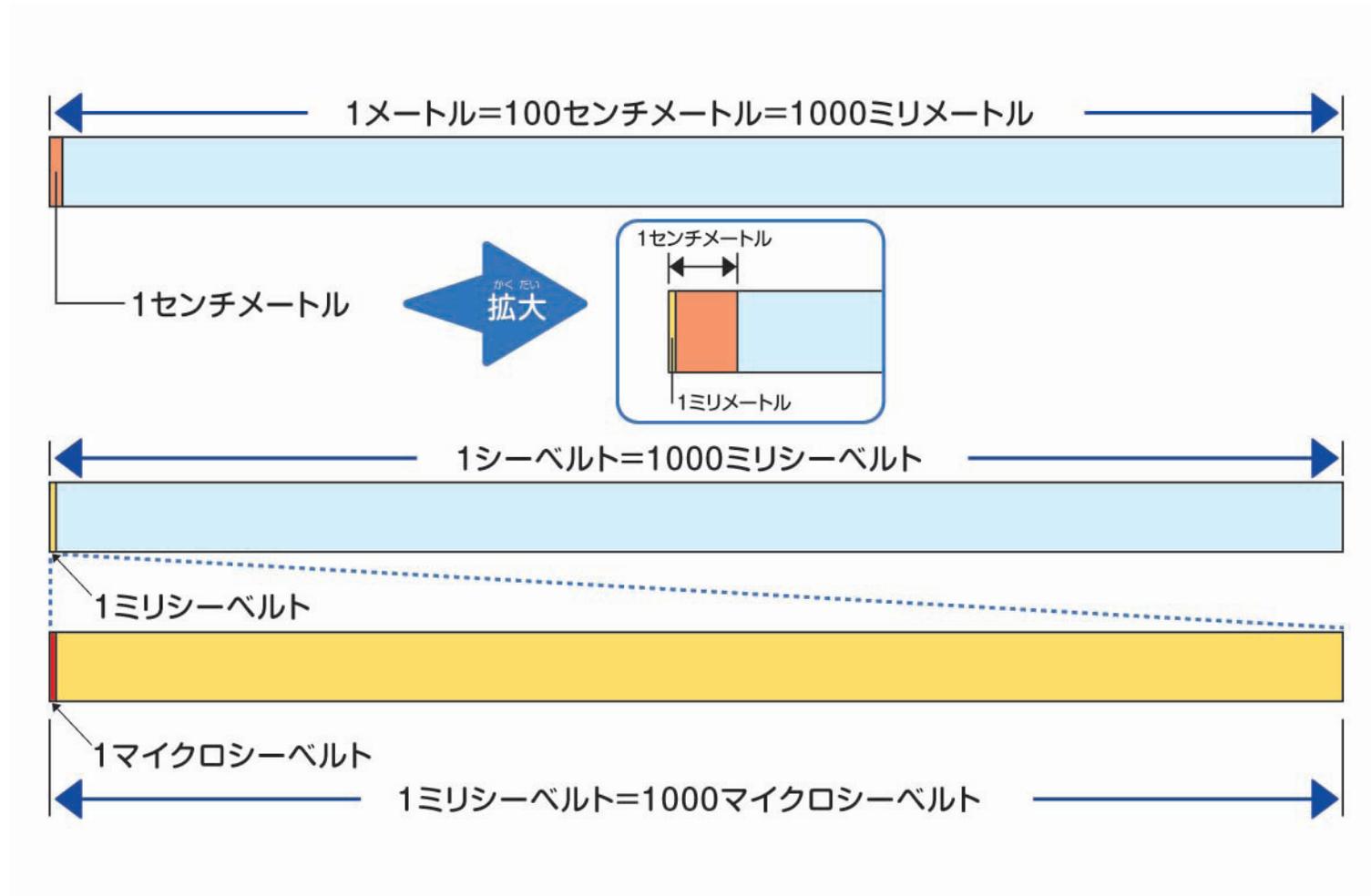
# 《放射線が減っていくようす》



セシウム137	30年	60年	90年	120年
セシウム134	2.1年	4.2年	6.3年	8.4年
ヨウ素131	8日	16日	24日	32日

出典：放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料 平成 24 年度版 ver.2012001  
 及び サイエンスウィンドウ「放射線ってなあに？」(科学技術振興機構) より作成  
 (掲載ページ：小学生用 P.10)

# 《シーベルト、ミリシーベルト、マイクロシーベルトの 大きさの比較》



# 《日本の自然放射線 約 2.1 ミリシーベルトの内訳》



うちゅう  
宇宙から

やく  
約 0.3 ミリシーベルト



じめん  
地面から

やく  
約 0.3 ミリシーベルト



くわき  
空気から

やく  
約 0.5 ミリシーベルト



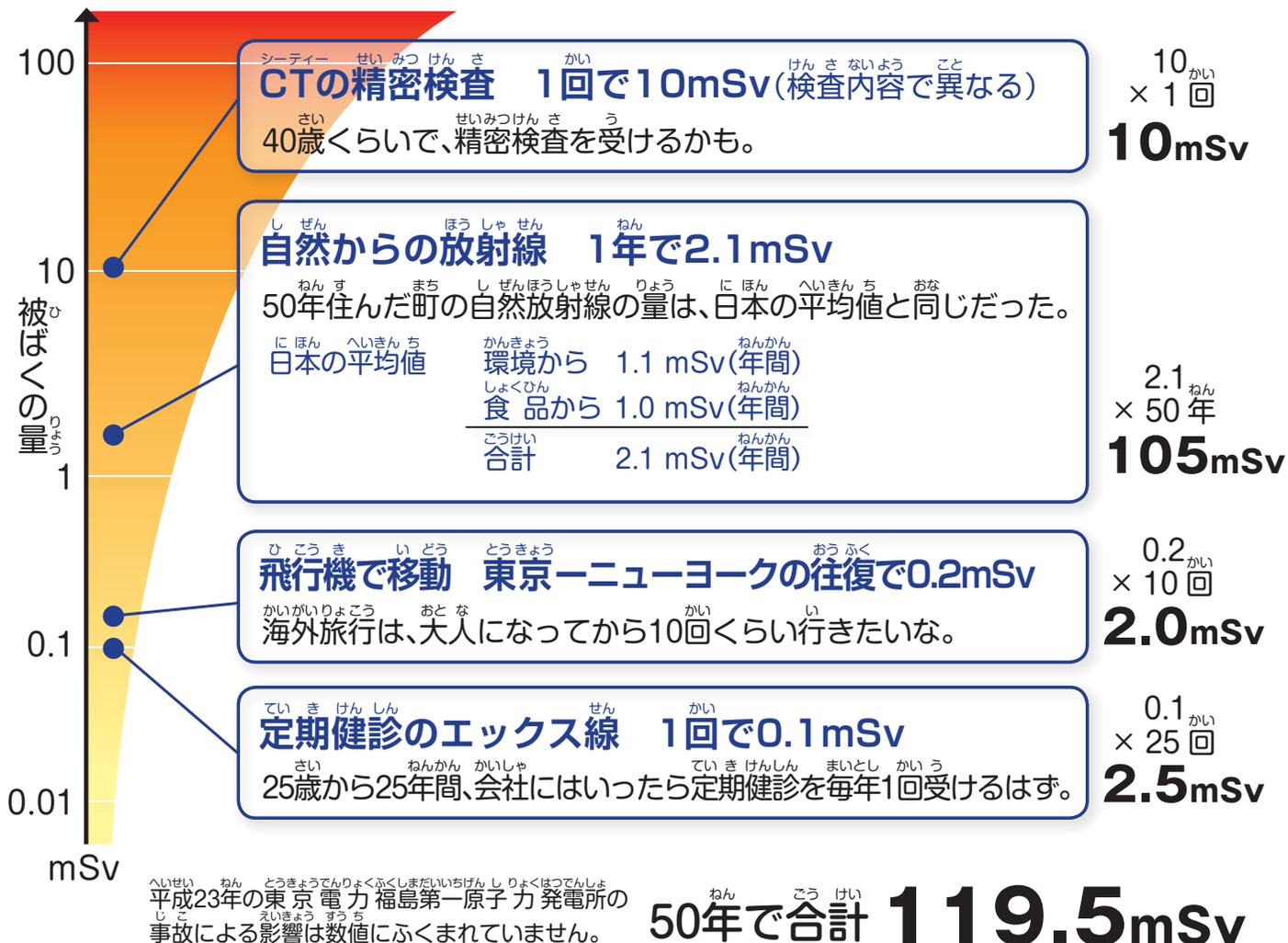
たもの  
食べ物から

やく  
約 1.0 ミリシーベルト

出典：新版 生活環境放射線（国民線量の算定）より作成  
（掲載ページ：小学生用 P.12）

# 《放射線の量を計算してみよう》

たとえば生まれてから50年間の被ばくは？ (mSv：ミリシーベルト)

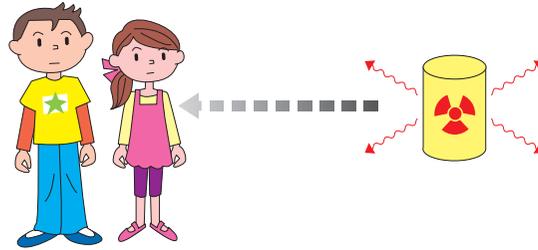


出典：サイエンスウィンドウ「放射線ってなあに？」  
(科学技術振興機構) より作成  
(掲載ページ：小学生用 P.12)

# 《放射線から身を守る方法》

## 放射線から身を守る方法

① 放射性物質からはなれる

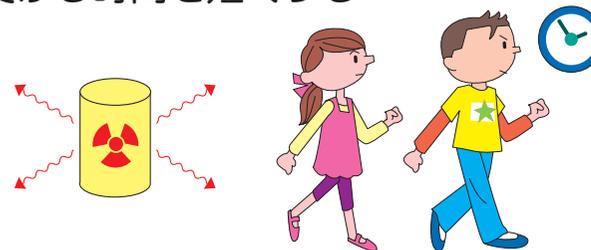


② コンクリートなどの建物の中に入る

(木造よりコンクリートの方が放射線を通しにくい性質があります)



③ 放射線を受ける時間を短くする



# 《放射性物質から身を守る方法》

## ほうしゃせいぶつしつ み まも ほうほう 放射性物質から身を守る方法

くうき ちよくせつす  
空気を直接吸いこまない  
(マスクやハンカチで口を  
おおいます)



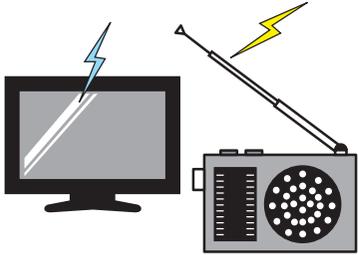
た もの  
食べ物にふくまれる  
じご ほうしゃせい  
「事故による放射性  
ぶつしつ りょうき  
物質の量」に気をつける  
たと あんぜんせい かくにん  
(例えば、安全性が確認  
できない野生のものは食  
べないようにする。野菜  
はよくあらって食べる。)



# 《退避・避難するときの注意点》

退避・避難するときの注意点

正しい  
情報に基づいて  
行動する

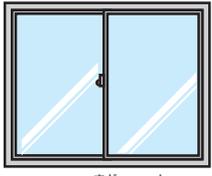


● 一斉放送、広報車、ラジオ、防災無線など

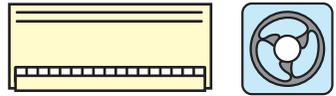
退避



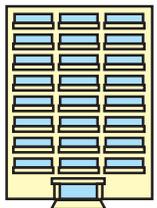
● 外から帰ってきたら顔や手を洗う



● ドアや窓を閉める



● エアコン（外からの空気を取りこむもの）や換気扇の使用をひかえる

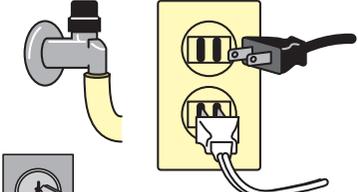


● 木造家屋より放射線が通りぬけにくいコンクリートの建物への退避指示が行われることもある

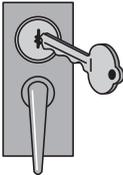


● 食器にふたをしたりラップをかけたりする

避難

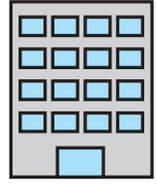


● ガスや電気を消す



● 戸じまりをしっかりする

● 避難場所へは徒歩で持ち物は少なく



● となり近所にも知らせる

退避と避難は、どちらも放射性物質から身を守ることであり、「退避」は家や指定された建物の中に入ること、「避難」は家や指定された建物などからも離れて別の場所に移ることで。